

題材名 「 不思議な『顔』 とにらめっこ 」	領域 鑑賞	時数 2時間
この題材で育てたい資質能力 ・ 作品を見たり、作者と同じような「顔」をかいたりする体験活動を通して、作品のよさや美しさを自分なりにとらえている。また作者の表し方の変化や表現の意図などをとらえる。		

同じ人がかいたんだって

まったく雰囲気違うね

よく見ると、一つ一つ違う表情をしている

顔がたくさん!

何かお題を決めて共通点を見つけてみよう

関：○作品「風景画」と作品「顔」の違いを感じ取り、なぜ作者が「顔」という作品をかいたのか、自分なりの方法で考えようとしている。

鑑：○作品を鑑賞したり、表現したりして作品のよさや美しさを感じ取り、また、作者のことについて知ったことから表現の意図を自分なりに考えている。

○感じたことや思ったことを話したり、友達と話し合ったりして、作品のよさや美しさ、作者の表現の意図について考えている。

どんな気持ちを顔に込めたのかな



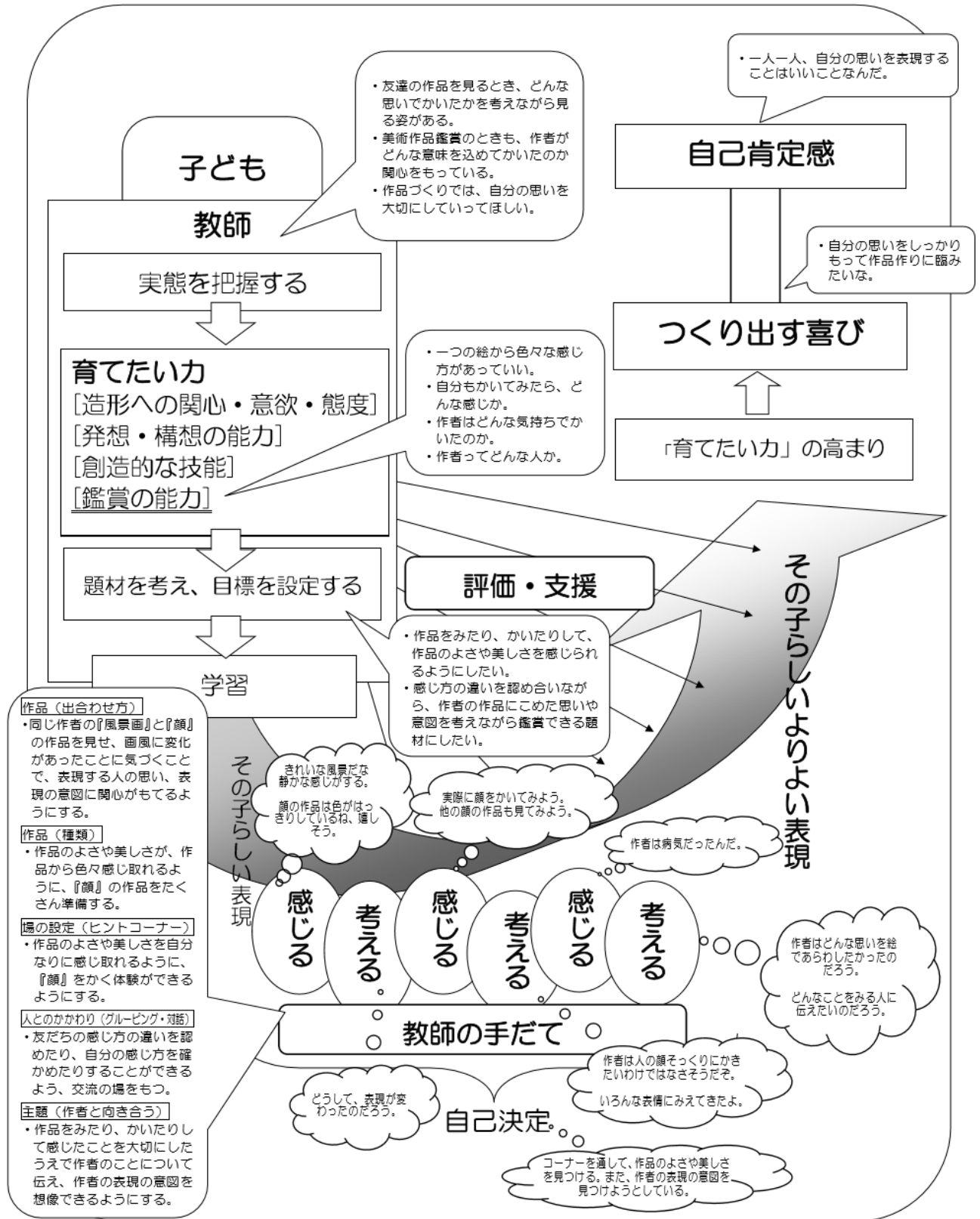
第6学年「ふしぎな『顔』とにらめっこ」(鑑賞) 2時間扱い

指導者 川崎市立東大島小学校
小川 俊輔

子どもの反応
思考など

教師の見とり、想定など

授業構想図



◇活動内容

○教師の手立てとかかわり

◎「感じる」「考える」ことを大切にした手立て

【評価規準】・・・(評価方法)

2つの絵を鑑賞しよう(15分)

◇中村正義さんという画家について知る。

○2つの異なる作品を紹介した。

◎二つの作品を見比べる場を設定した。



朝焼けかな、きれい



時間がゆっくり
進んでいる感じ

ウキウキして
くる感じ



全然雰囲気が違う

◇思ったことをたくさん話し合う時間を設けた。

誰かの顔なのかな



作者はどうして顔
をかいたのかな

◎二つの作品が同じ作者の作品であることを
伝えた。

◎絵の中にかかっているものや色などに注
目し、感じたことを話し合うようにした。

【関】 作品「風景画」と作品「顔」の違いを感じ取り、なぜ作者が「顔」という作品をかいたのか、自分なりの方法で考えようとしている。(活動)

たくさんの顔とご対面。(15分)

◇たくさんの顔から感じたことを話し合う。

○多様な作品を紹介した。



どれも違うね

笑ってる?



◎顔の作品に様々な見方や感じ方が広がる
ようにたくさんの顔を提示した。

【鑑】 感じたことや思ったことを話したり、友達と話し合ったりして、作品のよさや美しさ、作者の表現の意図について考えている。(活動)

みたり、かいたりしたら、作者はこんな気持ちだったのかも。

にらめっこコーナー（20分）



まねっこコーナー（20分）

◎20分ごとに交代し、「にらめっこ」と「まねっこ」のコーナーの両方を全員が体験し、作者の顔に込めた思いや意図などを想像できるようにする。感じたことや考えたことを記録できるように鑑賞メモを準備する。

◇顔のアートカードで遊びながら、顔を鑑賞する。

○お題をもとに多様な顔の作品をグループングするなどの活動を伝え、作品とにらめっこする。



どんなお題にしよう

選ぶときは理由を言うよ



◇作品を見ながら、まねっこしてかいてみる。

○子どもがまねてかきやすいように、作品を縮小したものをテーブルに置いておく。

材料:黄ボール紙にかく。イベントカラー使用



筆がとまらない。
どんどんかきたしてみよう

色を足して、明るくしてみよう



色々な顔をかいた作者について話し合ってみよう（20分）

◇2つの体験から作者が顔というシリーズに込めた思いや意図など、鑑賞メモをもとに話し合う。

◎体験をして作品や作者から感じ取ったことや考えたことを話し合ったあとに、作者の背景について伝えることでさらに作品と作者の関係にせまれるようにした。

【鑑】 作者について知り、コーナーでの体験で感じたことを交えて作者の表現の意図を自分なりに考えている。（活動）